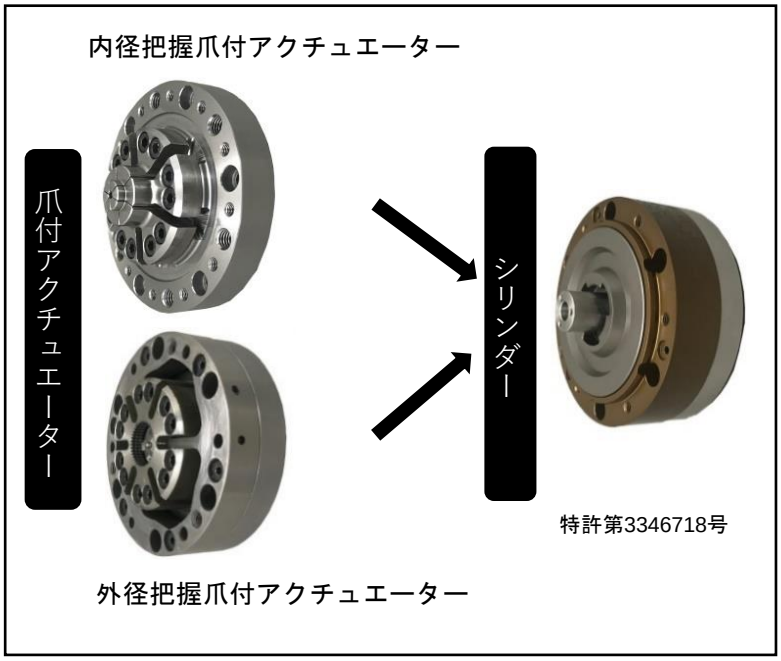
アクチュエーター交換例

軽量
高速回転仕様

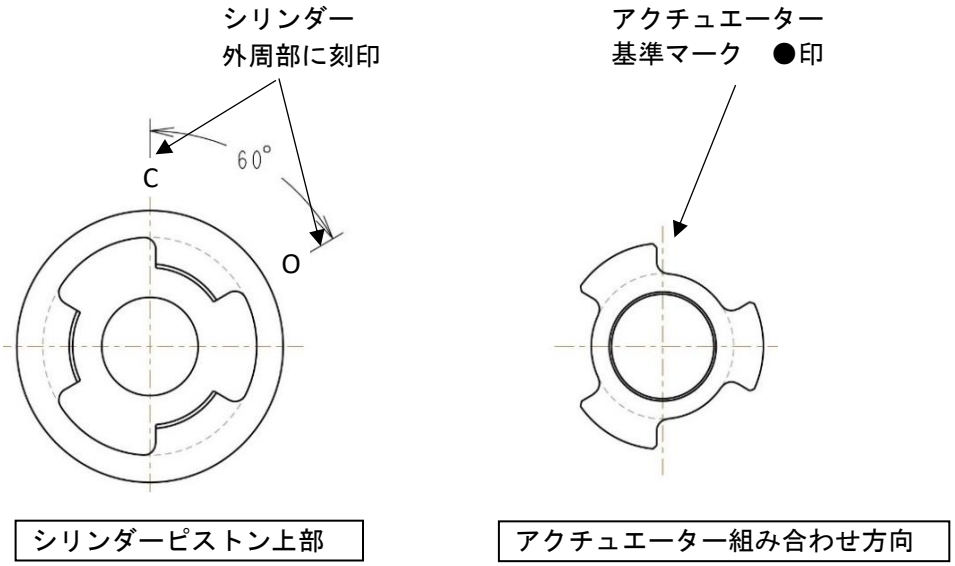
複数爪対応形

爪付アクチュエーター
交換バージョン



アクチュエーター交換原理

アクチュエーターとピストン、それぞれに切欠きの付いた引っ掛かりがあり切欠いている所へ合わせ、アクチュエーターを挿入し60°回転させると噛合います
この機構により膜からの段取り換えが可能となります



シリンダー刻印〔C〕、アクチュエーター合マーク〔●〕が同一位置で噛合せ、正常
シリンダー刻印〔O〕、アクチュエーター合マーク〔●〕が同一位置で噛合せ、解放